

申請書類チェックリスト

○以下の項目について確認を行い、本人チェック欄にチェックを記入してください。
 ○以下の提出書類を1～4（既卒者は1～5）の順番で点検して整え、「本チェックリストと一緒に提出」してください。
 ○簡易書留で郵送してください。

No	書類名	項目名	本人チェック欄
			※消せるペンで記入された申請書は受け付けません。
1		確認事項（全員）	☐ 募集要項とQ&Aを読みましたか？ ☐ 一定の県内就業を返還免除要件とする公的貸付制度の利用者ではありませんか？（貸与期間が無利子奨学金又は有利子奨学金の貸与期間と重複しない場合を除く。） ※貸与期間が重複している場合は本返還支援制度には申し込めません。 例：徳島県看護師等修学資金貸与制度、介護福祉士等修学資金貸付制度、保育士修学資金等貸付制度ほか、募集要項「1 募集対象者」参照 ☐ 一定の県内就業を給付要件とする公的給付制度の利用者ではありませんか？ ※利用者の方は本返還支援制度には申し込めません。
		確認事項（既卒者のみ）	☐ 既卒者にあつては、令和8年7月31日時点で県外に在住する30歳（令和9年4月1日時点）までの方ですか？ ☐ 既卒者にあつては、県内での就業開始が令和8年7月31日以降の予定ですか？
2	認定申請書（指定用紙）	申請者	☐ 日付を記入していますか？ ☐ 認定結果が届く住所になっていますか？ ☐ 住所はアパート名・部屋番号まで記入していますか？ ☐ 氏名のふりがなを記入していますか？ ☐ 電話番号とメールアドレスは、連絡のつきやすいものになっていますか？ 大学等のメールアドレスではなく、卒業後も使用できる個人メールアドレスにしていますか？ 大切な連絡を電話やメールで送る場合がありますので、確実に連絡の取れるものにしてください。 また、手書きの場合は、「1」（アルファベット小文字のエル）と「1」（数字）など、区別のつきにくいものはフリガナを振るなど、こちらが判別できるよう工夫してください。
		修学先	☐ 学科もしくは専攻科まで記入していますか？ 専修学校専門課程として申し込む方は、その学校が学校教育法で定める専修学校専門課程であることを確認しましたか？（Q&AのQ5参照） ☐ 申請時点の学年と、その入学・卒業予定年月を記入していますか？ ☐ 出身高校所在地の都道府県名を記入していますか？
		借受奨学金	☐ 月額・総額・借受期間を記入していますか？
		就業希望分野	☐ 就業希望分野の有無を記入していますか？ ☐ 有の場合は分野名を記入していますか？
		内定等	☐ 内定等の有無を記入していますか？ ☐ 内定の有無に関わらず、就業先は「徳島県内に事業所を置く企業」であることが支援の要件であることを理解していますか？（Q&AのQ2参照） ☐ 有の場合は業種と会社名を記入していますか？
			☐ 同意文に日付を記入し、記名していますか？ ☐ 申請書（様式第1号）の「その1」と「その2」の両方が揃っていますか？ ☐ もう一度、記入洩れ・誤記はありませんか？
3	奨学金貸与証明書		☐ 「奨学金貸与証明書」又はこれに準ずる資料（既卒者は「奨学金返還証明書」）ですか？
4	学業成績証明書		☐ 申請年度における前期分までの学業成績がわかる証明書ですか？ ☐ 科目ごとの取得単位数が分かる証明書ですか？ 科目ごとの取得単位数が分からない成績証明書の場合は、「単位履修証明書」など、科目ごとの取得単位数が分かる資料を併せて提出してください。 ☐ 大学院に在籍中の方及び大学院を修了された方は、大学在籍時の証明書も併せて添付していますか？
5	住民票の写し（既卒者のみ）		☐ 既卒者にあつては、令和8年7月31日時点で県外に在住することを証する書類（住民票の写し）を添付していますか？

上記の項目について不備が無いことを確認しました。

年 月 日

申請者 氏名